

令和5年度 九度山町立九度山小学校（学校経営方針）

九度山町学校教育目標

- 自己実現を目指し自立する子どもの育成
- 人を思いやる心豊かな子どもの育成と自ら体を鍛える子どもの育成
- 確かな学力と深い学びのできる子どもの育成
- 共生と公共の精神に富み、社会の形成に主体的に参画する子どもの育成
- ふるさと学習を通して地域の文化や伝統を重んじ、国際社会に貢献する子どもの育成

保護者の願い

- 子どもが楽しく、安心・安全に通える学校
- 子ども一人一人がわかるような指導
- 一人一人が大切にされる学校・学級づくり

【学校教育目標】

校訓 [真面目]

学校や地域に誇りをもつ児童の育成

～くろうをおしまずどりよくしてやる気いっぱいまじめな子～

- よく考え努力する子
基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、学習や生活に主体的・意欲的に取り組む子
- 心豊かで思いやりのある子
自他を大切にし、互いを尊重し合い、よりよい集団をつくろうとする子
- 心も体もたくましい子
進んで運動に親しみ、体力を高め、ねばり強く取り組む子

学校評価より

- 和歌山・九度山のよさやすばらしさを知る体験や学習は、学びの力になる。
- 学習の場面だけでなく生活の場面においても、自分の考えや思いを伝える力をさらに育成することが必要である。
- 一人一人の個性や特性を理解し、個に応じた指導の充実を図ることが大切である。
- 自他の命の大切さを理解させるとともに、自分を大切に思う心が育つよう取り組んでほしい。

児童の様子より

- 5分前行動をとれる児童が多い。進んで挨拶したりスリッパを揃えたりできる児童が多いが、さらに生活の約束を守るようにしたい。
- おおね素朴・真面目であるが、個別に支援が必要な場合もある。
- 自分の考えを表現することに苦手意識があり家庭学習等、粘り強く取り組む力が弱い。

重点目標

基礎基本の定着と主体的・対話的な学習活動の充実

- ◎よく考え「わかる」「できる」喜びを実感する授業
- ◎学習意欲を高め、学びに向かう姿勢の向上
- 読書活動の推進
- PC端末及びICTの効果的な活用

心豊かで心も体もたくましい児童の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎児童会活動・学級活動など特別活動の充実
- 生活指導の充実

一人一人のもてる力を高める特別支援教育の充実

- ◎子どもの理解と適切な目標設定
- ◎つながりを大切にしたい取組の充実
- 関係機関等との連携

学校や地域に誇りをもつ児童の育成

- ◎ふるさと教育の推進
- ◎体験活動の充実
- キャリア教育の推進
- コミュニティスクールの推進

具体的な取組

1 言語環境の整備と言語活動の充実

- ・読書活動の充実
 - ・国語科を要として各教科の特質に応じた言語活動の充実
 - ・言葉を大切にしたい授業作り（話す・聞く・つなげる）
- ### 2 研究主題に基づいた指導と授業改善
- ・「読むこと」「書くこと」を意識した指導
 - ・話し方・聴き方・話し合うためのスキルを指導
 - ・問題解決的な学習の展開（見通す・考える・聞いてつなげる・学び合う・考えを深める）
 - ・さわやかタイムを有効に活用し、読解力・思考力を育成

3 学力の把握と学習規律の徹底

- ・学力調査の結果分析と課題把握（子ども理解）
- ・学習ルール（準備・持ち物・チャイム着席等）
- 4 PC端末を効果的に活用し個別最適な学びを推進

1 道徳・人権教育の充実

- ・いじめを許さない心の基盤となる思いやりの気持ちや生命を大切にしたい心、規範意識を育む
- ### 2 児童会活動・学級活動など特別活動の充実
- ・互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、解決方法などを合意形成する指導
 - ・有用感・存在感を実感できる学級・集団づくり
- ### 3 生活指導の充実（自主・自立・思いやり）
- ・大切にしたい「あいさつ」を大切にしたい児童
 - ・非認知能力（粘り強く取り組む・折り合いをつける等）の育成
- ### 4 体力の向上・目標を明確にした取組
- ・体力アッププランを作成し、児童の実態に応じた目標・取組を設定

1 子どもの理解と適切な目標設定

- ・個別の指導計画・個別の支援計画の充実
 - ・指導形態・内容・方法についての研究
- ### 2 通常学級との連携
- ・特別支援学級における指導の形態・方法の工夫
 - ・校内研究授業の実施
- ### 3 通級指導教室からの情報発信
- ・個に応じた具体的支援の研究
 - ・通級指導教室の役割、指導方法・教材等の情報発信
- ### 4 保幼・中との連携の推進
- ・つながり愛シート（個別の支援計画）の活用
 - ・保育参観・授業参観をとおした課題の共有
- ### 5 SC・SSWとの連携
- ・校内委員会、ケース会議の充実

1 総合的な学習の時間「真田」の充実

- ・ふるさと「九度山」について体験的に学び地域のよさやすばらしさを知る
 - ・校区巡り・校区探検、柿の学習・世界遺産学習等
 - ・課題設定からまとめ・表現に至る探求の過程
- ### 2 体験活動の充実
- ・真田まつり、福祉体験、紙すき体験、琴体験、緑育体験、子ども農村漁村南北交流事業、上田市との交流（スキー体験等）、ボランティア活動
- ### 3 地域資源の活用
- ・地域の「ひと・こと・もの」からの学び
- ### 4 保護者のPTA活動の活性化
- ・保護者の学校運営への参画意識の向上
- ### 5 地域に開かれた学校
- ・各種お便り・HP等とおして、積極的に学校の取組の情報、子どもの様子等の発信

指標

- 県学習到達度調査・全国学力・学習状況調査で全教科の正答率が県平均に
- わたしは授業がわかる（児童90%）
- 自分の考えを自分の言葉で伝えることができる（児童75%）
- 教員による校内授業研究（各学年）
- 放課後学力補充（年間20回以上実施）
- さわやかタイムの充実と読書タイム（週2回実施）

- 学校が楽しい（児童90%）
- いじめの解消率100%・経過観察の徹底
- そうじをしっかりとできる・スリッパ揃えができる
- あいさつができる（児童90%）
- 困っているときに手助けしてくれる（児童90%）
- 思いやりの気持ちや生命を大切にしたい心、規範意識等の道徳性を養うための指導方法の工夫や授業作りに取り組んでいる（教員95%）
- 体力テストが県平均を上回る

- 個別の指導計画を作成し、事例をもとにした話し合いを行う（全作成）
- 個々の障害や特性に応じた指導の工夫がなされている（教員90%）
- 個に応じた自立活動を行う
- 校内委員会を月1回程度実施

- 「真田」の時間が楽しい（児童90%）
- 児童の発達段階に応じた体験活動を充実させる・キャリアパスポートを活用している（教員90%）
- 学校は、ゲストティーチャーによる授業や校外での体験活動の取組を行っている（保護者90%）
- 定期的なHP更新（週1回程度）
- お便りによる発信（月1回程度）